一の宮巡拝

一の宮巡拝会　発行人　塩原 輝昭

〒111-0055 東京都台東区三筋1-12-12第一大津ビル(株)アルプス・タカス内
電話：03-5823-3901　ファックス：03-3865-2135
http://ichinomiya-junpai.jp　E-mail:junpai@alpst-net.co.jp

祈りをこめて－コロナに負けるな!

まだコロナ感染症が終熄しない今日、会員皆様方におかれましては如何お過しでしょうか。
コロナ感染症のニュースがテレビ等で認識が始ったのは２月の後半からであろうか？ 2020年1月20日に横浜港を出港したダイヤモンドプリンセス号は鹿児島～香港～ベトナム～台湾～沖縄など各地を周遊して２月３日に横浜港に帰港した。そして２月５日に船内における 10 人の感染者が確認され、更に２月 13 日には 218 人と発表された。この時点では…私たちは未だ他人事の様にニュースを見聞きしていた感じがありました。２月後半になって船内だけでなく、感染症の発症者が徐々に日本各地にも確認されてゆく事を知り、医療機関で従事されている方々の大変さを知る所となった。
それ以後、今日にいたる迄、厳しい状況下におかれた私たち巡拝者も思うように行動する事を制約され神社巡りも考慮に考慮を重ねて活動して来られたところでございます。

橘 三喜を祀る一樹神社御神宮

神社参拝は早い時点から警戒が発せられ、各神社様の例祭等への一般参列は出来ない状況が通達され未だに続いております。神社の神職様はこのコロナ禍に於いても、年間の各例祭は欠かす事無く斎行され、その都度、神々様へコロナ終熄の「疫神祓」祈願をして下さり深く感謝を申し上げる次第でございます。

一の宮巡拝会会員の皆様は、きっとこの様な状況下でも許される範囲内で氏神様や近隣の神社に赴き、祈りを続けて下さっている事と推察致し、感謝をしているところで御座います。
県を跨いで他県の神社参拝に行く事に、特に制約が厳しかった東京は行動範囲が狭まり大変な時期を過ごしました。「東京の方はご遠慮ください」と書かれた通知状が相次ぎ届く事が多々ありました。そんな中でも「疫神祓」を祈る為、マスクを掛けて消毒液を携え、車での移動を主として 出来るだけ人が少ないと思われる山岳の神社を目指して行動した事も事実でした。今年は木曽御嶽山の王滝口を訪れ、「新滝と清滝」で早朝の禊ぎを致しました。

8月下旬には２日間で出羽三山神社を訪問し、月山登拝～湯殿山の御滝を御沢掛けからの禊行もさせて頂けた。コロナに感染する事の無きよう、万一東京人として人様にご迷惑を掛けぬ様にと…体力強健に努め自己判断で抵抗力を培う為に実施して来ました。おかげ様でどうにか元気で過ごさせて頂いております。

そうしたコロナ禍中、9月に入って思いもかけなかった貴重な参拝をすることが出来ました。60日に一度めぐってくる「甲子日」に斎行される 妙義山中之嶽神社・甲子大国神社は巡拝会で1月初参りをした社で、「甲子祭」昼の部に漸く参列する事が出来ました。その後、群馬県から山形県へ向かい鶴岡で一泊し、次日に出羽三山神社の社務所を訪問した。8月に月山登拝の帰路、八合目に置き忘れた金剛杖を引き取りに行きました。その後、新潟県長岡市へと向かった。何と「橘三喜」をご祭神とする神社に出会ったのである。「一樹神社」正に橘 三喜の霊神號を冠した神社で有った。新潟県長岡市 悠久山 蒼紫神社境内の一画に地元の方々の尽力により鎮座していたのである。

一の宮巡拝会 代表世話人　塩原輝昭

次ページで、蒼紫神社境内と一樹神社・社殿の写真をご紹介したいと思います。

訪問日：令和2年9月19日(土)

新潟県
長岡市

悠久山蒼紫神社と一樹神社

◆蒼紫神社　御祭神：牧野忠辰命（まきのただときのみこと）　八意事代主神（やえことしろぬしのかみ）
合祀神：天 照 大 神（あまてらすおおみかみ）　白山比咩神（しらやまひめのかみ）
◆一樹神社　御祭神：橘主計三喜（忠辰候神道の師）　ー亨和3年（1803）11月創祀ー

■亨保7年9月（1722）忠辰候の嗣子 四代忠壽候により父への追慕の念願から、長岡城本丸東北の一画に造営し、忠辰候を神として祀られたのが最初と伝わる。常に崇敬されていた事代主命を配祀した事により、同年京都神祇宮 吉田家より蒼紫霊神の神号を賜った。次いで明神号も賜った。後年、明治4年3月神仏分離令により、蒼紫神社と改名された。

■橘 三喜は寛永12年（1635）肥前国平戸で生誕し、元禄16年（1703）3月7日 武蔵国足立郡三室郷にて69歳で没したが、京都吉田家から『一樹霊神』の霊社号を贈られた一の宮巡拝の先駆者でもあり、数多の贈答歌を残した歌人でもある。忠辰候の神道の師とも伝っているのだから、特に長岡藩とは縁が深っかったのだろうと思われる。

蒼紫神社 一の鳥居北参道入口

北参道二の鳥居と左が社務所・拝殿

御神門（高明門）の奥に蒼紫神社拝殿・本殿

御神門（高明門）からの表参道三の鳥居

三の鳥居から御神門（高明門）〔奥に本拝殿〕を望む

三の鳥居傍らに鎮座の一樹神社全景　銘板にかろうじて一樹神社と読みとれる

橘三喜を祀る御神宮は御扉の菊水紋が特徴である

蒼紫神社本殿と覆棟

17基の牧野家歴代霊廟と本殿

郡 順史『全国一の宮調元祖 信念の神道家 橘 三喜』

一の宮巡拝会 2011年発刊　B5判、248頁

地理書とはいささかおもむきが異なるが、紀行文でもあり、一般書店では販売されていない書物であるので、ここで紹介する。

橘 三喜（ﾀﾁﾊﾞﾅﾐﾂﾖｼ、1635−1703）は、肥前平戸藩に仕えた神道家であり、「橘神道」を創設した。全国 68 ヶ国の一の宮を足掛け 23 年間（1675〔延宝 3 年〕−1697〔元禄 10 年〕）かけて巡拝し、その紀行文として『一宮巡詣記』（全 13 巻）を著した。ただし原本は失われ、今日では『一宮巡詣記 抜粋』（全 2 巻）が伝わるのみである。

本書は、著者 郡 順史氏により、橘 三喜の生い立ちから一の宮巡詣出立にいたるまでの経緯を小説とし、『一の宮順詣記 抜粋』の全文にコメントを付加して著したものである。

- ●第 1 章　小説　信念の神道家　橘 三喜（伝）　128 ページ
- ●第 2 章　詠易訳　一の宮巡詣記 抜粋　原文　上・下巻（寸釈余語付）86 ページ
- ●第 3 章　資料編　一の宮巡詣記 抜粋　上・下巻原文（国会図書館蔵）25 ページ

と、小説部分と巡詣記部分とは、ほぼ半々の分量となっている。

小説部分においても壱岐一の宮［天手長男神社］の再建個所は壱岐島の地勢・風土にも言及され、それなりに地理的であるが、地理愛好者には詠易訳部分がメインとなる。以下は詠易訳部分の紹介である。

1675 年 7 月 27 日 生国 肥前一の宮［與止日女神社］を発願に、北は陸奥［塩釜神社］から南は薩摩［和多都美神社（現、開聞神社）］まで、一の宮のみならず各地の神社寺院にも参詣しており、全国の地名がでてくる。現在の地名とすぐ対比できるところ、容易には対比ができないところといろいろである。巡検でおとずれた神社名も散見される。

当時の自然まかせの旅の様子が随所にみられる。佐渡から本土にもどるのに昨日浦というところで 20 日あまりも船待ちし「舟待は きのふの浦と思ひしに 送る日数や 廿日なるらん」と戯れ歌をよんで気をまぎらわしており、風向き次第の航海である。「木立深き山中を行けば、蛇ぶとはらひもあへず…」と心細い表現もある。

郡 順史『全国一の宮調元祖 信念の神道家 橘 三喜』

17 世紀当時は、一の宮の所在が不明のところも多く、橘 三喜はその所在の考証もしつつ巡らねばならなかった。「只一宮と計り云て巨細しれず。」である。神社の古文書をみたり古老の話をきいて一の宮を認定している。ところが現在の学説では、橘 三喜の考証が誤りであると批判される個処もある。しかしそのような詮索はその道の専門家にまかせることとし、紀行文としての一の宮巡詣記の価値をそこなうものではない。

藩に仕えるという上流社会の人士である橘 三喜は、商業ホテルではなく神社の宮司宅などに伝手をもとめて宿泊している。宿泊代などはどうしたのだろう？と評者のごとき下司にとっては気になるところであるが、一方こうした便宜が各地で得られるところに 橘 三喜の実力をみることができる。

一の宮巡詣記の特色に、各神社のスケッチが豊富に描かれていることがある。当時の神社付近の様子がよくわかる資料である。橘 三喜自身の筆によるものか従者の手になるのかは不明。実は、橘 三喜はひとり旅だったのか、従者がいたのかが分からないのである。

1697 年（元禄 10 年）9 月 12 日 伊豆一の宮［三嶋大社］で結願。「今六十八州仕廻、…天下第一の山神の御社にて成就する事、感心不斜有がたく覚ゆ、…」。

一の宮巡拝会会員（No.114）栗田好明 記

※本書は市販されていないので、入手は下記に申し込む。

【一の宮巡拝会 東京事務局】
Tel:03-5823-3901　Fax:03-3865-2135
E-mail: junpai@alpst-net.co.jp
定価 2,500円（税込）送料 1 冊 500円　代金は現本発送時に振込用紙同封　会員価格 2,000円（送料別）

＊野外歴史地理学研究会掲載分から引用　栗田 好明氏 承諾済

日本一の金の大黒様は剣を握持

報告　一の宮巡拝会　令和2年新春初参り

妙義山 中之嶽神社・甲子大国神社
信仰と祈願の社 妙義神社
上野国一の宮 一之宮貫前神社

中之嶽神社参道145段の急な石段を見上げる

令和2年1月25日（土）に、新春初参りを行いました。

巡拝コース　東京駅丸の内北口出発 ⇒ 甲子大国神社（正式参拝・祈願）⇒ 妙義神社 ⇒貫前神社（正式参拝）⇒ 東京駅八重洲口

中之嶽神社御神体「轟岩」の説明をする工藤宮司様

甲子大国神社拝殿　剣を持つ大国様が印象的

甲子大国神社正式参拝　心正して

甲子大国神社正式参拝　宮司一拝から

甲子大国神社正式参拝　祈願後宮司様から由緒説明

権禰宜様と広島から参加頂いた 中央の細谷先生と柿本様

上野国一の宮　一之宮貫前神社にて記念撮影

正式参拝後御神酒を戴く

小林宮司様から御神殿の説明を拝聴

妙義神社総門（国指定重要文化財）前にて記念撮影

妙義神社本殿への156段の参道石段を登る

御本殿は素晴らしい彫刻が重飾する

旧社殿　波己曽神社裏手から眺む→

格式ある神社二十二社　准勅祭社 東京近郊十二社

⑤斐伊川和紙(二十二社)定価一万円

⑥四国楮和紙(二十二社)定価六千円

ご購入希望者は本部事務局まで　ご注文の際は番号と品名を必ずご記入下さい。

軽量で携帯に便利！ 墨書きに優れ、好評の和紙御朱印帳です。

B5判（タテ257×ヨコ182mm）

④四国和紙・本文白紙版（楮笹ヶ峰）
定価六千円（送料別）

③四国和紙・楮笹ヶ峰
一の宮神社名・ご祭神名入り
定価七千円（送料別）

②斐伊川和紙（奥出雲・手漉き）
本文白紙版
定価一万三千円（送料別）

①斐伊川和紙（奥出雲・手漉き）
一の宮神社名・ご祭神名入り
定価一万五千円（送料別）

「諸国一の宮巡拝成就の証」発行について

全国一の宮102社（108所）を巡る参拝の旅は、広大無辺な御神徳を頂ける祈りの旅でもあります。私たち巡拝者に多くの事象を大自然の法（のり）と共に、神と生きる道を教示してくれる。何巡目になろうと、常に新鮮な御魂になれる場所こそが、一の宮の聖地で在ろうと心得て惟神（かんながら）の歩みを続けて頂きたいと存じます。今回、諸国一の宮を完拝された会員を祝福させて頂く証しのために『**諸国一の宮巡拝成就**』の記念御守カードを作製致しました。未会員の方は必ず事務局へご相談下さい。

東京本部事務局で完拝の証明が出来た方のみ、御希望者には特別頒布をさせて頂きます。（但しお一人様一組 3,000円、巡拝成就記念お守り携帯カード・完拝証状 完拝者名及び証明月日入 A5判）

☆お問い合わせは本部東京事務局まで

「全国一の宮会」編　公式ガイドブック

◆全国一の宮めぐり

一の宮神社の神職で構成されている『全国一の宮会』事務局（大和国一の宮大神神社内）で平成二十年十二月に発刊された公式ガイドブック一の宮めぐりは現在第九版となっております。巡拝会発行の「全國一の宮巡拝のすすめ」と合せて活用して頂けたら幸いです。

◆旅する一の宮

一の宮めぐりをもっと気軽に旅するガイドブックとして新たに平成二十四年五月一日に発刊されました。一の宮神社案内と合わせ、各神社周辺の観光スポットを紹介した多彩な情報が満載です。

尚、各公式ガイドブックは一の宮神社と一の宮巡拝会本部事務局で頒布しており、一般の書店では購入することは出来ません。全国一の宮神社の社頭でお求め下さい。神社にない場合は、一の宮巡拝会本部事務局へお問合わせ下さい。

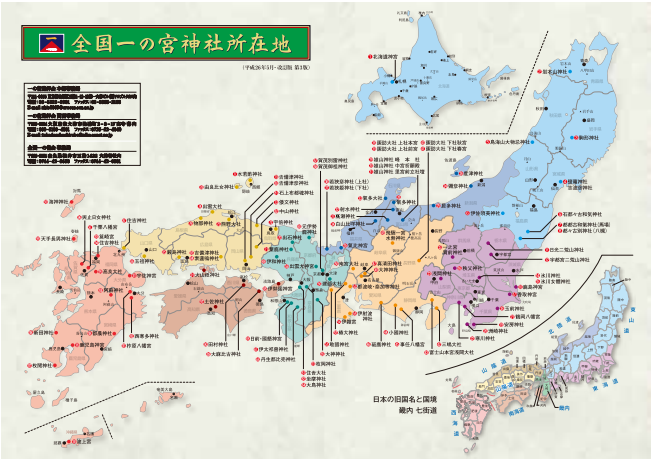
頒布価格　各一、〇〇〇円

◆全國一の宮巡拝のすすめ−改訂版−

B5版 20頁（会員は無料）

◆全国一の宮神社所在地（会員は無料）

B3版横両面刷り（四ッ折B5サイズ仕上）



「全國一の宮巡拝のすすめ」+「全国一の宮神社所在地図」をご希望の方は、送付先を明記の上、送料分（1セット）切手 400円（100円切手4枚希望）を同封し、必ず封書で本部事務局へお申し込み下さい。

−平成30年 改訂版 増刷−

一の宮巡拝会 本部事務局
〒一一一−〇〇五五
東京都台東区三筋一−十二−十二（株）アルプス・タカス内
電　話　〇三−五八二三−三九〇一
FAX　〇三−三八六五−二二三五
一の宮巡拝会 関西事務局
〒五七三−一一九七
大阪府枚方市禁野本町一−八−三二−三〇七　中谷 英明 内
電話・FAX　〇七二−八四八−八九八〇

●入会金及び会費について
一般維持会員　年会費　三〇〇〇円
賛助会費　一口　三〇〇〇円（何口でも可）
寄付金　お志し　※常時受け賜ります。　薄謝謹呈